



# 画工画

が  
こ  
う  
え

高島屋史料館 企画展

明治の画工、  
世界に挑む

【第Ⅰ部】  
高島屋の  
画室

【第Ⅱ部】  
下画と  
染織品

CREATE  
DESIGNS  
FOR  
TEXTILE  
ARTS



2022年  
9月10日[土]—12月19日[月]

[第Ⅰ部] 9月10日[土]—10月24日[月]  
[第Ⅱ部] 11月5日[土]—12月19日[月]

※会期は変更となる場合がございます  
開館時間 = 10:00-17:00(入館は16:30まで)

会場—  
高島屋史料館  
企画展示室  
休館日—火・水曜日  
10月27日[木]—11月4日[金]は  
展示替のため休館  
[入館無料]

高島屋史料館

Takashimaya Archives

 Takashimaya

明治中期、京都の小さな呉服商であった高島屋は新しく貿易業を始めました。輸出したのは美術染織品。当時、「画工」と呼ばれた人々が描いた下画をもとに、職人が染・織・刺繍を駆使して額絵や壁掛、屏風などに仕立てました。高島屋の製品は世界各国の博覧会で高い評価を受け、異国の邸宅を彩る室内装飾品として続々輸出されました。世界市場を視野に入れた製品の下面は、伝統的な日本の絵画を基本としつつも、洋風のモチーフや構図を意欲的に取り込んだ斬新な画が多く見られます。

世界が認めた製品の下面を描いたのは誰か。今に残る書簡や出勤簿から、岸竹堂、今尾景年、幸野株嶺、竹内栖鳳ら、名だたる面々が手がけていたことが知られます。けれども、下面は下画であるが故に、署名も印も残されていません。そんな“名も無き”画工たちによる下画の数々と稀少な製品の展覧を通して、世界に挑んだ明治の画工の気概と矜持を感じていただければ幸いです。

※本展は会期をI部・II部に分け展示作品をすべて入れ替えて構成します。(一部、展示資料を除く)



刺繍《獅子図》【II部】



高島屋飯田貿易店門標【I・II部】

セントルイス万国博覧会賞牌 1904年【I・II部】



友禅《竹と薔薇と鶏図》【I部】



下絵《芦に鴨》【I部】



卓掛下絵《魚網》【II部】

掲載作品(いずれも部分):  
下絵《夜桜に猿》《紅葉に猿》【I部】  
下絵《薔薇図》【II部】  
友禅《鯉図》【I部】  
下絵《岩上大鷲図》【I部】

## イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。

①～③いずれも参加無料、要申込み、**抽選制**です。当館ホームページよりお申込みください。  
※状況により、イベントを中止する場合がございます。

### ① 講演会「高島屋 明治期輸出染織品研究の最新トピックス」 **要申込み・抽選制**

■講師 = 廣田 孝氏 (京都女子大学名誉教授)  
■9月18日[日] 13:00~14:30  
■会場 = 多目的ルーム  
■定員 = 15名

### ② 講演会「高島屋の画工たち—竹堂・景年・株嶺・栖鳳の書簡を読む—」 **要申込み・抽選制**

■講師 = 高井多佳子 (高島屋史料館研究員)  
■11月27日[日] 13:00~14:30  
■会場 = 多目的ルーム  
■定員 = 15名

### ③ 高島屋東別館建物ツアー **要申込み・抽選制**

■講師 = 加藤雅久氏 (居住技術研究所主宰)  
■10月23日[日] 10:30~12:00 / 14:00~15:30  
12月4日[日] 10:30~12:00 / 14:00~15:30  
■定員 = 各回15名

### 学芸員によるギャラリートーク

■会期中の毎週土曜日 14:00~(約30分)  
※お申込み不要、開始時間までに企画展示室にお集まりください。



【アクセス】 南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分  
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分  
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住所】 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館3階  
TEL. 06-6632-9102

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

